

(書式2)

学会参加報告書

提出日 30年7月17日

学籍番号	18PDA01	学系	トレーニング科学
氏名	相川 聖		
学会等名 (正式名称)	The 8th International Congress of Asian South Pacific Association of Sport Psychology		
開催日程	2018年 6月 29日 ~ 2018年 7月 3日		
開催場所 (国・都市名)	Daegu, Republic of Korea		
発表演題名	The Effect the Marshmallow Challenge Brings to Communication Skills		
参加報告 ・項目別に具体的に記載する。	<p><学会の全体の印象> 今学会では、アジアを中心とした人々が多く、その中でも特に東アジアの国々の人が多いと感じた。発表の中には「Mental Energy」などの見慣れない言葉が使われているものもあり、大変興味深かった。また、ポスター発表と同時にシンポジウムや口頭発表が行われていたことから、ポスター発表の際のディスカッションがあまり活発でない印象を受けた。</p> <p><自分の研究と関連した発表とその内容> 「身体活動における参加意欲の理解の促進」のシンポジウムにおいて、自己効力感とマインドフルネスとの関係性を検討している研究が紹介されていた。また、自己効力感が先行要因、または媒介要因なのかを検討している研究もあり、大変興味深く、今後の自分の研究に参考になった。</p> <p><自身の発表への質問・コメント> 「マシヨマロチャレンジという課題について詳しく教えてください」といった質問が多かった。この質問については、どのような課題かをわかりやすく説明するために写真などを用いて説明した。また、研究の手続きについての質問については、自分自身の考えも踏まえ説明を行なった。10名近くの方が今回発表した研究に興味を持ってくださり、その方々は別刷りしたA4サイズのポスターを持っていった。また、もう少し深い内容のディスカッションをするためには、英会話の能力を高める必要があると感じた。</p>		

※ 補助金を受けた学生はこの学会参加報告書を提出すること。

提出期限は学会終了後2週間以内とする。

本報告書は学会参加報告書として日本体育大学総合スポーツ科学研究センターホームページ内に掲載されます。